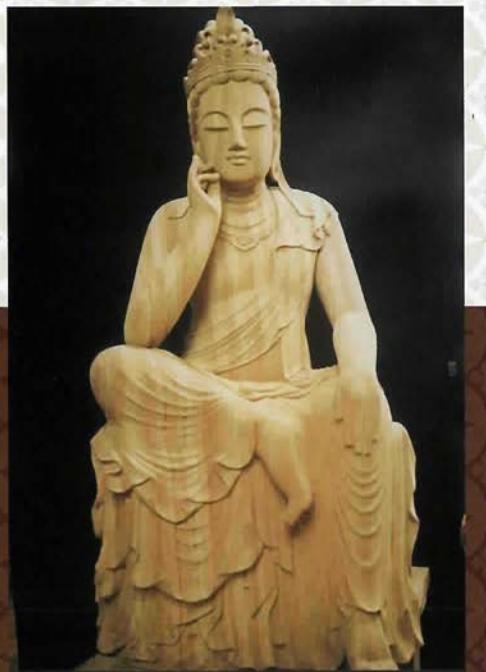


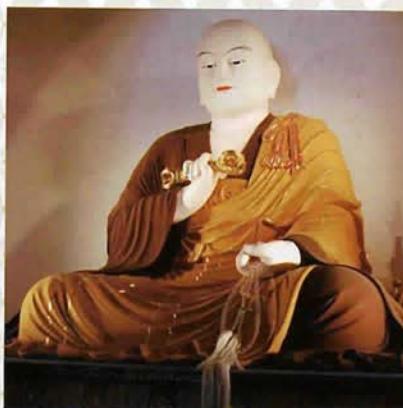
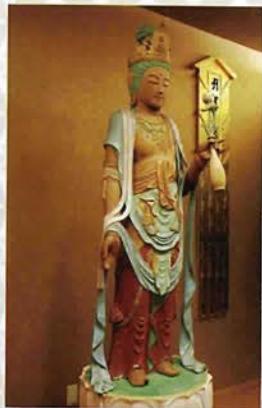
仏師

山高龍雲の世界



(右) 藏王権現(大阪府／山田教会)

(左) 弥勒菩薩(兵庫県／浄徳寺)



(上右)孔雀明王(兵庫県／真福寺)

(上中)弘法大師(兵庫県／須磨寺)

(上左)聖觀音(兵庫県／須磨寺)

(下)十一面觀音(アメリカ・ラスベガス／觀音寺)

色のある須磨の地で 明澄な御仏を彫る

「ガラスのコップ」を彫れ

なめらかな曲線。おだやかな表情。そこに光がれる光が輝きに変わるような仏像たちは、緑に包まれた名刹須磨寺の参道に建つ工房で生まれている。

山高龍雲さんは、この道40年の仏師。須磨寺や月見山の浄徳寺など神戸の伽藍はもちろん、全国、そして海外の社寺のさまざまな像を彫ってきた。

彼の師は、同じく仏師であつた父。「仕事を教えてはくれませんでした。見て盗めということだったのでしが当然なのですよ」。そう語り「呼吸おいてから」「でも、『ガラスのコップをつくれ』と何度も言わされました。ガラスのコップにジュースを注ぐと、それは『ジュース』と意識されコップの存在は意識されない。仏像も一緒に」と…。



関係ない。大切なのはその中にいる「仏」であり、その前に立つ人がそれを感じることであると山高さんは自然体で、無心に、ほのかに木の香漂う仕事場で使い込まれた道具を手に汗を流している。



須磨在住の仏師
山高龍雲さん

技の基本は「研ぎ」

仏像も大小さまざま。木は実際に繊細な素材。乾燥で割れぬよう、細心の注意が必要だ。大きな像になるといくつかのブロックに分割して制作するが、組み立てて、粗彫りの後一度解体して内側から乾燥させる。さらに細やかな彫りを加え、再び組み立てるという手間のかかる作業だ。

表情は「やさしい顔をやさしいと感じる」とは限りません。一方で険しい顔にやさしさを見いだすこともあります。それは観る人が決める「こと」です」と、彫る際に「こんな風にしよう」と意図を持たない。無の境地で彫られた仏像を前にすると、美は作られるのではなく生まれるものであるとしみじみ思う。

古仏の修理も重要な仕事。古の職人の彫り方の癖や技術をマスターしないとできない難しい仕事も、「勉強になる」とまるで楽しむように。

仏師のさまざまな仕事の中で最も、基本は研ぎににあるという。「研ぎがちゃんとできるようになるには3年かかります。私も40年間、毎日、数時間かけて研いでいます」。

時代の中継点から、次の時代へ

工房では教室も開催し、全国に生徒は500人を数える。また、弟子たちも研鑽を積んでいる。技術の継承は心配なさそうだが、大きな問題がある。木材だ。

仏像に一番向いているのは南木曾のひのきで、その中でも谷底に根を下ろした木が最適だそうだ。光が真上からしか差さないのでまっすぐ伸び、木目が端正でまっすぐ割れる。しかし、近年の環境悪化で良い木は少ないとか。カヤの木もなくな

り、楠ですら良質のものは減ってきていると山高さんは嘆く。

須磨寺関連の仕事など、縁あって須磨の地にやつて来た山高さんは、「須磨はおもしろいところです。風景に色がある。須磨寺をはじめとして、一ノ谷、村雨堂、敦盛の史跡と、全国からやつて来る客人たちを案内するには事欠きません。須磨は時代の中継点なのでしょう……」そう語る職人から生まれた仏像は、時代を越えて愛されていくのだろう。「仏像は拌まれてこそ、いきいきと時を重ねていくのです」。



進化し続ける「平成の寺」

東須磨の地で、平安末期より信仰を集めてきた高野山真言宗「淨徳寺」。伝統や様式を重んじながら、「平成の寺」としてのあり方を創造する。

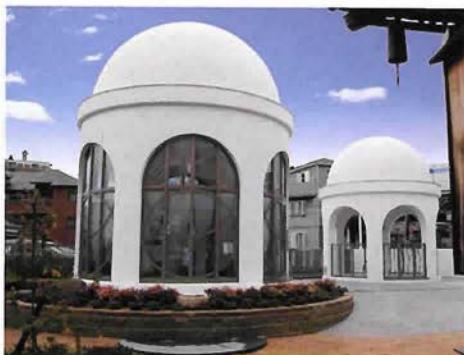
高野山真言宗 淨徳寺



5時46分、早朝の須磨に梵鐘の音が鳴り響く。震災で亡くなられた方々の御靈を鎮魂する。この地域は、被害が大きかつたゆえに、朝早にもかかわらず苦情の声があがらないという。

潮風がそよぐ月見山に、平安末期から続くお寺が静かに佇んでいる。高野山真言宗「淨徳寺」は、どこか心静まる雰囲気。創建当時の諸仏諸菩薩は、本尊である十一面千手觀世音菩薩を除き、戦火に包まれ灰となつた。平成5年までに伽藍、24体の仏像が復興したが、その再興に力を尽くしたのが、仏師・山高龍雲さん。弥勒菩薩、釈迦如来の穏やかな表情は、木彫の

なめらかさ、木の温もりで表現。毘沙門天、大聖不動明王の烈しい表情は、大胆な木彫技術と、その陰影で表現した。「仏像は、たくさんの方々に見ていいただいて、実際に触れていただきことでご利益があります。ここにある平成の仏の数々は、人類の財産として伝えていきたい」と宇賀芳樹住職。



平成19年に完成したドーム型の納骨堂

られた釈迦堂の下、地下に設けられた納骨堂は、自然光が差し込む平穩な空間に。由緒にとらわれないとして進化をとげている。

ただいて、実際に触れていただ

くことでご利益があります。こ

とに多くの仏の数々は、人

類の財産として伝えていきた

い」と宇賀芳樹住職。

平成7年には、阪神・淡路大震災に見舞われてしまう。堂宇は倒壊という憂き目にあうが、不幸中の幸いにも諸仏諸菩薩に損傷はなく、再び「和敬静寂」の世界を取り戻した。

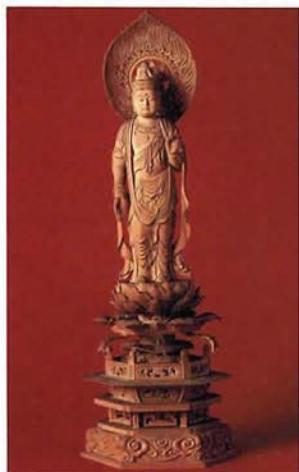
平成19年にはドーム型の納骨堂が完成。ステンドグラスに彩



五大明王像



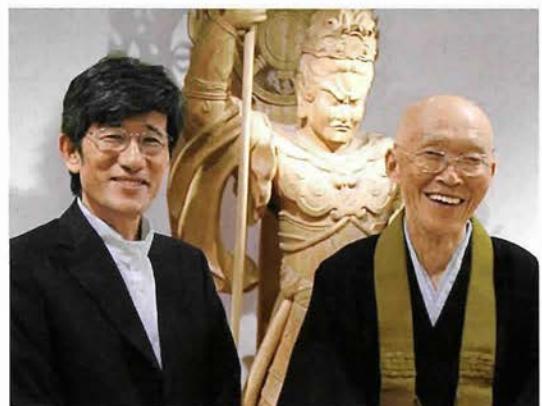
弥勒菩薩思惟坐(上)・釈迦如來坐像(下)



月光菩薩像



大型不動明王



仏師・山高龍雲氏と淨徳寺・宇賀芳樹住職



市民と共に歩んで20周年 神戸市混声合唱団の歌声が響く



神戸らしく「小ジャズミサ」を歌う



常任指揮者的小泉ひろしさん



矢田立郎神戸市長のあいさつ



上／101人のメンバーが集う。作曲家・中田喜直さんのご夫人・幸子さんの指揮で、「ふるさとの四季」を歌い上げる。右／神戸市混声合唱団運営委員長の妹尾美智子さん。中／いよいよフィナーレを迎える。左から小泉ひろしさん、井村誠貴さん、中田幸子さん、宇野功芳さん。左／成功を喜び合う中田さん、妹尾運営委員長。



20周年を迎えた 神戸市混声合唱団を語る

妹尾 美智子
(財)神戸市混声合唱団運営委員長

今年で20周年を迎えた神戸市混声合唱団。神戸文化をコーラスで支えてきた20年の足跡と、合唱団の将来像について、合唱団を牽引してきた妹尾さんに伺った。

日本一の合唱団をつくって…

—神戸市混声合唱団20周年おめでとうございます。

妹尾 ありがとうございます。この合唱団が生まれたのは神戸市

制100周年の時でした。当時の宮崎辰雄市長が、神戸にはすでに室内合奏団があつたので「今度は本物の合唱団にしてください」と。

それで、児童合唱団、女声合唱団、混声合唱団の三つをつくって、その面倒をみて育ててほしいといふこととなり、はいはいと気楽に引き受け(笑)。とは言え、三つはさすがに無理なので、混声合唱団からかなと。ところが、まあ、難しい(笑)。そこで、井上和世先生、宮本慶子先生、坂本環先生、広岡隆

正先生とご相談してがむしゃらに立ち上げたのですよ。

費用は市制100周年記念の事業費からいただきました。

妹尾 目標は市民とともにある、市民の中に入つていく合唱団。そ

して、皆プロなので、『和』の心を持つということ。団員の生活が安定する収入を出すこと。この三つをモットーにしました。団員の給与に

対しては、この合唱団独自の給料体制を採用しました。点数制なのですよ(笑)。練習に出席すると何点、舞台に上がると何点という加算方式。70点以上がAランク、69点がBランク、64点以下がCランクとして、ランクごとに固定給と出演料をビシッと決めました。

そのかわり練習を休むと何点引

き、舞台を休むと何点マイナスというようにして。

さすが妹尾流、すごい(笑)。

妹尾 でも団員に説明するのはとても大変でした。けれどこれが安定したので、半年ごとにランク分けして、Bランクの人でも70点以上を取るとAランクにいける。今やほとんどの団員がAランクですよ(笑)。

—それなら生活できますよね。

妹尾 ところが、役所のお金を使うので、途中で3割カットとか、合唱団が合唱団のどちらかを廃止しろという話があつたりして…。でも、いろいろな事業費をカットして

大変でしたが、固定給はきちんと確保しました。3割カットするのだったら歌の一番と二番は歌つても三番は歌わんよと(笑)。まあ、20年間収入を守り抜いたことが、よく続いた基本ですね。

—メンバーは何人ですか。

妹尾 40人です。2年毎にオーディションをします。新しく応募した人も入れることで、質が落ちずレベルが上がるのです。技術が落ちないのも妹尾流かな(笑)。

—いやいや、20年続くはずですね。

妹尾 20周年に、これまで合唱団

で歌つたことのある人においておいでおいでうて声をかけたので、101人集まって大合唱!かわいいものだなあつて思いましたね(笑)。お互いに和の心でいこうといったのが、尊敬し合つて、それが人間的につながつたのでしようね。だから「声掛けいただいてありがとう」「またこんな機会には呼んでください」つて。

歌とともに市民と共に、世界へ

—活動も幅広いですね。

妹尾 シャンソン歌手の石井好子さん東京パリ祭で、男性団員8人がバックで17年間歌つてきました。震災復興のイベントでは、NHK交響楽団とモーツアルトの「レクイエム」を合同演奏しました。指挥者のウラディーミル・アシュケナージさんが「一ラスに感動してしまって、N響の人とコーラス団が涙流して握手しましたよ。それがきっかけとなりNHKホールで歌い、アンコール放送が多くて年間に何回も放映されたのですよ。衛星生放送で世界中に流れましたからね。

それに、神戸では市民病院の院

内コンサート、区民センター、しあわせの村に1ヶ月に1度伺います。お客様を待つだけでなく、出かけて歌います。神戸のすべての小学校へ6年間かけてオペレッタを持つて回っています。最初は『あまんじやくとうりこひめ』、次は『泣いた赤鬼』と、もう2巡目です。子どもたちが「合唱団に入るのにはどうしたらしいの?」って(笑)。20周年の記念事業として、NHKの番組「ようこそ先輩」のように団員

が行つてまた合唱する。これも2回がかりでやつています。市民とともにある合唱団は市民とともに歩んでいるので、市民サービスは当たり前なのです。

この前、矢田市長と一緒に合唱団も天津へ行きました。中国の歌を中國の人に教わつて歌つたら、天津市長が大変喜ばれ、われわれももつと勉強をと文化担当を呼び寄せたそうです(笑)。

—これから夢をお話ください。

妹尾 神戸室内合奏団があるのですね。室内合奏団は毎年必ず一回東京で公演があるので、東

でしょう。でも、「一番大切なことは、市民とともにあるということです。団員は皆いい人ばかりで、品があつて明るくて、礼儀正しいし。神戸らしいですよ。365日のうち、市内で200日は公演しています。市民病院では「すてきなゴーラスを聞いたから安心して手術できます」なんて言つていただく患者さんもいて、嬉しいことです(笑)。

—コンサートでのワインカラーのドレス、よかつたですね。

妹尾 あれは友の会の会員のみなさまの寄付でつくったのです。友の会の会員を増やして、男性陣の制服もスカツとしたものをつくりないとね。ファンションも大事ですよ、神戸ですから。神戸の姉妹都市、ラトビア共和国の港町・リガの合唱団も軽装ですべきですよ。音楽のまち神戸も月刊で発行して、今月で149号。広報もおこなつていかないといけないし……。でもまずは音楽の質を落とさないように、団員の生活維持を考えて、いくのが私たちの務めでしょうね。

(聞き手・小泉美喜子)

RYUKAの ホームカミングデー



8月9日、神戸市西区の流通科学大学にて同大学の同窓会「有朋会(ゆうほうかい)」主催の第3回ホームカミングデーが盛大に開催されました。

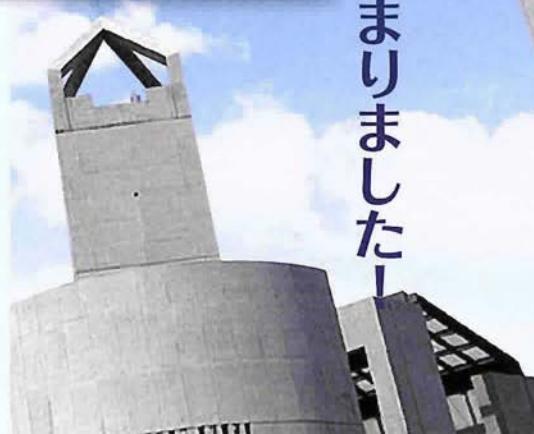
一年に一度のイベントだけあって、在学中以来の再会に驚く顔、毎年お子さんを連れて恩師とにかくやかに語る姿、新たに同窓生のネットワークが築かれる場面…など、ホームカミングデーの参加人数も徐々に増え今年は約250名の参加となりました。

総会や今年の4月に新学長として就任された石井淳蔵学長の特別講演の他、学内施設ツアー、懇親会など実施イベントも盛りだくさんで、終日、同窓生で賑わうRYUKAキャンパスであります。

近年、母校に集い大学の近況に触れたり、懐かしい恩師や友との親交を暖めたり、青春時代に戻る機会の創出を…
そんなイベントが各地の大学で開かれているのをご存知ですか？
流通科学大学同窓会「有朋会」のホームカミングデーは今年で3回目を迎えました。

卒業生・教職員…
懐かしの顔、嬉しい顔が集まりました！

年に一度の大同窓会！



講

4月に就任された石井淳蔵学長の特別講演では卒業生も思わずうなづく面白さ。受講できる在校生が羨ましい!



総

年に一度の有朋会総会。海外支部からも参加。卒業してもネットワークは途切れません



学

中内記念館や流通資料館には貴重な展示物が多くあり何度みても圧巻です



有朋会

流通科学大学同窓会

卒業後も世代を超えた交流が生まれる



らに、遺伝子を解析することによって将来を知れば、必要な予防サプリメントも分かります。その延長線上のホームケアとしてコスメも扱っています。

こうして、不要な節制や余計な心配をせずに、老後を健康で良い状態にもっていくことで、自動的に「6つの要素」がそろいます。当然、肌もキレイになってきます。

ざつくばらんに お話を聞くことを心がけて

ーこのクリニックの特長は?

伊庭 レーザー機器は充実していると思います。しかし置いているだけでは意味がなく、どのように使こなすかが重要です。私は機械好きですから、最も効果的なレー

あたたかく迎えてくれるスタッフの皆さんと



ザーの担当方をと、独自の工夫をしています。顔のプラセンタ注射も関西ではここだけ。ピーリング剤やコスメも、当院オリジナルの処方で調合しています。

現在注目しているバストアップケア商品として、ホップエキスをはじめ独創的な成分が配合された「アウトバーン モア エッセンス」があります。現在、患者さんに使っています。ただいまですが、今後、バストの悩みや、例えば、乳ガンの手術後のケニアなどにも「一ズ」が増えるのではないかでしょう。さらに、肌の再生にこだわり、有るものを取り除くと

ザーや、成長因子を入れて肌を成長させる注射などに力を入れています。

ーどういうお医者さんでありますか。

伊庭 私の場合は、何がなんでも医者になりたいと思ったわけではなく、今でも医者をやっているという意識はありません。悩みを持つて来られる患者さんに対して、研究を重ねられた偉い先生方の専門的なデータを噛み砕いて提供するコーディネーターといったと



皮膚科・美容皮膚科
レーザースキンケア **元町伊庭クリニック**

☎078-331-1802(完全予約制)
10:00~13:00/14:00~19:00 日曜・月曜・祝祭日
<http://www.iba-cl.jp>

こうでしょうか。肌を見て、何が起つたか推測するために、とにかく患者さんとお話しすることが大切な皮膚科医は、人好きな私には適役だと思っています。患者さんとはざつくばらんに友達感覚で接し、当院は女性専用クリニックですから、私も常に「中性になろう」と心がけているんです(笑)。私はこの街と、このストリートをとても気に入っています。ここでしかやっていない医療を提供して、神戸の顔になれたらしいなと思っています。そして将来は地元・草津に肌のケアハウスをつくり、神戸ブランドを持っていけたら最高ですね。

兵庫県立円山川公苑

コウノトリが舞い、風光明媚な山海の景色に名湯や但馬牛、松葉ガニなどのグルメも揃う魅力的な但馬エリア。

兵庫県立円山川公苑は山陰海岸国立公園内に位置し、兵庫県北部で唯一の美術・スポーツの拠点としても親しまれています。

穏やかに流れる円山川の河口近く、自然のまま残る森に囲まれ、敷地内にはカワセミやコウノトリの姿も。豊かな自然の中での美術鑑賞のほか、やさしい川風と澄んだ空気の中、青々と広がる芝生でのんびりと過ごし、ちょっとしたスポーツを楽しむこともできます。秋は山々が紅葉の錦を飾り、春は山桜の可憐な花が咲き誇ります。

美術館は小さいながらもセンスあふれる展覧会を開催。

県北唯一の県立美術館として近・現代美術やサブカルチャーを切り口とし、さまざまな表現分野を紹介しているほか、郷土ゆかり



但馬エリアの美術・スポーツの拠点「兵庫県立円山川公苑」



美術館では、秋の企画展を開催



夏はプール、冬はスケートリンクとして利用

の作家である前衛書家の森田子龍、版画家の河原英雄らの作品の収蔵など、地元作家も紹介。もちろん、有名美術品の企画展も開催され、緑に包まれたロケーションの下、心静かに鑑賞できます。この秋の企画展にも注目です。

自然を満喫したい方にはカヌーがおすすめ。まずは池で練習。上達すれば、すぐ脇を流れる円山川に漕ぎ出すことができるかも。小学生から楽しめ、初心者には無料レッスンがあります。さらに上達したい方は、カヌースクールに参加しましょう。冬にはスケートも楽しめます。大空の下で滑ることができる、北近畿圏で唯一の屋外リンク。夏はプールとして営業しています。

美術、スポーツを問わず、さまざまな企画やイベントも開催。さらに「円山川公苑サポーターの会」(会費無料)に登録すれば、会員のみのイベントにも参加できます。

城崎温泉からすぐ。水族館や玄武洞にも近く、行楽にも最適。芸術の秋とスポーツの秋を同時に楽しめるおすすめのスポットです。家族や友人とぜひお出掛けください。

展覧会情報

■「大西艸人の世界—干潟の詩—」

全国的にも有数の干潟として知られ、兵庫県隨一を誇る、たつの市新舞子の干潟。この干潟を独自の現像技術を駆使し色彩表現にこだわり撮り続けている高砂市在住の写真家、大西艸人氏の作品を紹介します。



会期:10月26日(日)まで

見どころ!

大西艸人氏の叙情的な構図のみならず、自然の美を芸術にまで昇華させた幻想的な色彩にも注目です

企画展観覧料／大人350円、小・中学生以下150円(ココロンカード利用可) ※団体割引(20名以上)、身障者割引もあります。

開館時間 9:00～17:00

■「バルビゾン派展—自然への憧憬—」

19世紀フランスで発生したバルビゾン派。ミレー、コロー、ルソー、トロワヴィヨン、ディアズ、デュプレ、ドービニといった「バルビゾンの7星」の作品を中心とした34点を紹介します。



会期:11月1日(土)から平成21年1月12日(月・祝)まで

見どころ!

自然への詩情や畏敬を描いたバルビゾン派。日本有数のバルビゾン派コレクションを山形県・後藤美術館の名作がラインナップ

スポーツ情報



カヌー

■ 営業期間:11月21日(金)まで

営業時間:9時～17時

カナディアンカヌー 600円/1時間 カヤック 450円/1時間
(いずれも中学生以下は半額)、用具レンタル無料

スケート

開放的な屋外型リンクで、冬場の運動不足解消に。初心者レッスンも随时受付(無料)。

■ 営業期間:11月22日(土)～平成21年3月8日(日)まで

営業時間:10時～19時

※団体での利用は時間外でも可能。(要予約)

滑走料金／大人500円 小人250円 貸靴料金／1回450円

兵庫県立円山川公苑

豊岡市小島1163

☎0796-28-3085

<http://www.maruyamagawa.com/>



【休館日】5月～10月は無休
11月～4月は月曜(祝日の場合は翌日)・12/31・1/1定休

【アクセス】●電車・バスで…三宮から城崎温泉までJR特急「はまかぜ」で約2時間半、全但バス特急バスで約3時間・JR城崎温泉駅より全但バス「日和山」ゆきで「小島」下車、歩徒約15分、または「気比」ゆきで「網巻神社」下車徒歩約10分
●車で…城崎温泉から約10分、豊岡市街から約25分(県道3号線を北へ、港大橋を渡って1つ目の信号を右折)

第13回 神戸100年映画祭



「西の魔女が死んだ」監督:長崎俊一

- ビフレホール (JR「新長田」駅前ビフレながた)
「君うるわしくー邦画黄金時代を語る」

10月31日(金)

女優・草笛光子さんをゲストに迎えたトーク(13:30~)、成瀬巳喜男監督作品『娘・妻・母』(1960年)、市川崑監督作品『獄門島』(1977年)の上映。



草笛光子

11月1日(土)

田宮二郎主演の『白い巨塔』(1966年)、そして兵庫県内で撮影された『火垂るの墓』(2008年)の上映と、日向寺太郎監督のトーク。

- 兵庫県民会館9階ホール
(地下鉄「県庁前」駅)
テーマ「地球にやさしく、人にやさしく」
11月2日(日)・3日(祝)

英国人祖母と孫のあたたかい生活を描いた『西の魔女が死んだ』(2008年日本)、植物と動物たちの想像を絶するドラマ『アース』(2007年ドイツ・イギリス)、ピーター・ラビットの作者ビアトリクス・ポターの半生を描く『ミス・ポター』(2006年アメリカ)の3本を上映。

- 神戸アートビレッジセンター(神戸高速「新開地」駅)
「新開地 淀川長治メモリアル」

11月13日(木)~11月15日(土)

『近松物語』(1954年日本)『真昼の決闘』(1952年アメリカ)『サンセット大通り』(1950年アメリカ)『黄昏』(1951年アメリカ)『巴里のアメリカ人』(1951年アメリカ)の5本を、1日3本ずつ上映。※上映時間、上映日はホームページまたはお問い合わせください。

鑑賞券 当日1,200円(前売券 1回券1,000円 3回券2,500円)
障がい者シニア(60歳以上)1,000円(当日のみ)
小中高校生700円(当日のみ)
■問/NPO神戸100年映画祭事務局 078-954-8044
<http://www5e.biglobe.ne.jp/~kff100/>

神戸らんぶミュージアム 「あかりの日」無料開放

10月21日(火)
神戸らんぶミュージアム



10月21日、エジソンによって発明された実用的な白熱電球が約40時間点灯した日を記念して、この日は入館無料となる。

10月7日(火)~26日(日)は「Only One~デコパージュ展 痴の彩~」展を開催中。

10月21日のみ無料開放
10:00~17:00(入館16:30まで)※普段は一般400円、小人200円
月曜休館
■問/神戸らんぶミュージアム(「三宮」駅より徒歩7分・旧居留地京町筋)
☎078-333-5310

市民映画劇場10月例会 「ヴィーナス」

10月24日(金)25日(土)
神戸市産業振興センター



イギリス映画界の巨匠、ロジャー・ミッセルルが贈る、ロマンチックでおかしく、愛しさにみちた人間贊歌。主演は、『アラビアのロレンス』等の名優、ピーター・オトワール。若いころもてはやされ、さまざまな浮き名を流した俳優のモーリスも、

もはや70歳代。そんな彼が、友人の姪ジェシーを見てときめいた。

下品で無作法であっても、この若さの輝き、彼女こそがヴィーナス! かくして、モーリスは徹底的に彼女にアプローチする…。

11:00/13:30/16:00/19:00(4回上映)※25日は最終18:30
神戸市産業振興センター3階ハーバーホール(JR「神戸」駅徒歩約7分)
一般1,500円(前売1,300円)学生、シニア、障がい者1,100円
■問/神戸映画サークル協議会
☎078-371-8550(平日11:00~18:30)

2008 CWAJ Print Show 第53回CWAJ現代版画展

25日10:00~20:00
26日11:00~16:00

鑑賞無料

神戸外国俱楽部

(各線「三宮」駅・地下鉄・新幹線「新神戸」駅よりタクシーまたは神戸市営バス)

■問／CWAJセンター

☎03-3491-2091

PrintshowKobe@cwaj.org



10月25日(土)26日(日)
神戸外国俱楽部

女性たちによる国際的な非営利ボランティア団体「CWAJ」が、現代創作版画のすばらしさを紹介とともに、収益を学生への奨学金支給に当てる目的で1956年より開催されている展覧会。毎年東京で開催されてきたが、初めて神戸会場で実施。

吹田文明、ダニエル・ケリー、横尾忠則ら版画界の大家による作品と、公募による入選作品が展示、販売される。故・川田幹による神戸風景をはじめ、11名の版画家による「都会への想い—東京と神戸」展も併設。www.cwaj.org

川田幹「坂のある街B」(神戸の家)

「ウェッジウッド」 ヨーロッパ陶磁器デザインの歴史

10月8日(水)~2009年1月12日(月祝)
兵庫陶芸美術館(篠山市)

イギリスを代表する世界的な陶磁器ブランド「ウェッジウッド」が創立250年を迎えるのを記念し、同社の歴史をたどる名品約250点を一堂に紹介。イギリスのウェッジウッド美術館とウェッジウッド家、駐日英国大使館などが所蔵するコレクションの中からよりすぐ

った、ティーウェアやディナーセットといった食器類のほか、つぼ、カメオ、香水瓶など装飾品の数々が勢揃い。日本初公開となる「初日の壺」(1769年)や、女性初のロイヤルデザイナーとなったスージー・クーパーによるテーブルウェアなども。



プリンス・オブ・ウェールズの壺
1795年頃 ノッティンガム城美術館
©2008-2009
Nottingham City Council.
All rights reserved.

10:00~19:00(入館は30分前まで)
※10月中旬の金土曜は21:00まで
月曜休館(祝休日の場合は翌平日休)
一般1,000円 大高生800円
中小生600円
■問／兵庫陶芸美術館
(JR福知山線「相野」駅より神姫バス)
☎079-597-3961

アートイニシアティヴ・プロジェクト Exhibition as media 2008 「LOCUS」

11月1日(土)~24日(月祝)
神戸アートビレッジセンター(KAVC)

KAVCが10年間主催してきた、若手芸術家を育成する企画「神戸アートアニュアル」のセカンドステージとして開始された、新たな創造鑑賞型事業「Exhibition as media」。

本展では慣れ親しんだ「展覧会」のメディア性について再考し、企画立案から実施までのプロセスを重視しながら、アーティストと会場が共同して新たな「展覧会のカタチ」を創造する。絵画、インスタレーション(空間を使った芸術)の作家たち、木藤純子、国谷隆志、栗田咲子、田中秀和、三宅砂織の5人が出展。



12:00~20:00
火曜休館
入館無料
■問／神戸アートビレッジセンター
(神戸高速「新開地」駅徒歩約5分)
☎078-512-5500

木藤純子「vostok」2008年
撮影:福永一夫

～Asian Fantasy～ 錦繡夢幻



李浩麗(歌)



11月2日(日)

兵庫県立美術館ミュージアムホール

歌手・李浩麗と、王秀華(二胡)、何歎(琵琶)、付虹(揚琴)、池田安友子(打楽器)のチャイニーズアンサンブル華によるコンサート。

「步步高」「山門峽暢想曲」などの伝統的な中国音楽や、「荒城の月」「コンドルは飛んで行く」「ランバダ」などのポピュラーソング、日本の曲など、国境を越えた美しいメロディを披露する。女性5人によるアジア幻想をお楽しみください。

14:00開演(13:30開場)

一般3,500円(前売3,000円)

兵庫県立美術館(阪神「岩屋」駅徒歩約8分)

■問／オフィス華音 ☎078-230-0400

ミュージアムショップ ☎078-265-6655

市民のための オルガンコンサート

11月8日(土)
ベガ・ホール(宝塚)

ベガ・ホールのパイオルガンの美しい音色を多くの人に届けたいと、月に一度無料で提供されるコンサート。

11月は、57ページでもご紹介している追中宏美さんと、片桐聖子さんによる連弾演奏となっている。

(上)片桐聖子
(下)追中宏美

14:00開演

入場無料(予約不要)

■問／ベガホール(阪急「清荒神」駅徒歩1分)

☎0797-84-6192

加藤ヒロユキのマルチなライブ 「愛を歌う 母へ」

11月9日(日)
世良美術館

佐藤誠



実音3オクターブ音域の力強い歌声、持ち前の明るいキャラクター、音楽のフルコースを具現するマルチ・テノール歌手、加藤ヒロユキのヴォイス・ワールドが神戸に!

ゲストナビゲーターに佐藤誠(元NHKエグゼクティブアナウンサー)を迎える。

13:45開演(13:15受付)

一般6,600円(限定80席/予約制)

世良美術館(阪急「御影」駅徒歩3分)

■問／HANA OFFICE

☎078-591-9304

笛の詩人・きしもとタローと 訪ねる音楽の旅 vol.2

10月25日(土)
コープこうべ生活文化センター

きしもとタロー

竹の笛、木の笛、真鍮の笛…さまざまな世界の笛を奏でる「きしもとタロー」と仲間たちがお届けする、世界音楽の旅第2弾。ベルーやアイルランドなどの美しいメロディをお届けする。

14:00開演(13:30開場)

一般2,500円(前売2,000円)

■問／コープこうべ生活文化センター

(JR「住吉」駅徒歩約8分)

☎078-431-5273

ライブハウススケジュール *Live House Schedule*

10月のおすすめライブ

ジャズライブ&レストラン SONE

- 10/4(土)5(日) 神戸ジャズストリート※12:00~17:00
通常のナイトライブは「鍋島直弔クワルテット+ヴォーカル」
- 10/9(木) 大塚善章トリオ+大越理加(vo)
- 10/13(月祝) ソネ40周年記念ライブ
スペシャルゲスト 北村英治、ミッキーカーチス、林隆三(俳優)
- 10/15(水) キャンディ浅田(vo) 祖田修(p) 中島教秀(b) 石川潤二(dr)
- 10/19(日) 大越理加(vo) +フィリップ・ストレンジトリオ
- 10/23(木) 長谷川元伸句クワルテット+ヴォーカル
- 10/25(土) ジャネット(vo) 井上さとみ(p) 三國智(b) 北村吉彦(dr)

■JAZZ LIVE & RESTAURANT SONE 北野坂

078-221-2055 <http://kobe-sone.com>

★ステージ18:50~23:00 計4回 ★ミュージックチャージ 900円

記載された以外にも、毎晩ライブあり。ホームページでスケジュールをチェックしてください。

クラシックライブハウス ピアジュリアン

- 10/8(水) 有馬みどり(vo)
- 10/10(金) 北野智子(ソプラノ) 杉浦希未(ソプラノ) 花岡薰(ソプラノ)
長谷川千里(p)
- 10/11(土) 北口大輔(チェロ) 奈良田朋子(p)
- 10/12(日) 西村圭市(バリトン) 藤江圭子(p)
- 10/17(金) 大塚裕紀子(フルート) 東口泰之(ファゴット)
- 10/21(火) 谷本華子(ヴァイオリン) 藤井快哉(p)
- 10/22(水) 第82回藤沢シリーズ「フルートアンサンブル MARY'S」
- 10/30(木) 金子鈴太郎(チェロ) 多川響子(p)

■クラシックライブハウス PIA Julien

三宮駅北側近藤ビル9階(1階マクドナルド)

078-391-8081 月曜定休 <http://pia-julien.com>

★ステージ19:30/21:00(計2回)

記載された以外にも、毎晩ライブあり。ホームページでスケジュールをチェックしてください。

ライブ&レストラン Holly's

- 10/2(木) 大内玲子(p) B吹田善仁(b) D今井康鼓(dr)
10/10(金) 中西芳子(vo) 岸本良平(p) 斎藤一郎(b) 樋下善弘(dr)
10/25(土) 広部直子(vo) 影山朋子(vib) 西川悟(b) 加納新吾(p)

■Holly's

各線三宮駅より北へ徒歩7分

078-251-5147 <http://www.kobe-hollys.com/>

★音と光の街神戸北野のLive & Restaurant Holly's

その他のライブスケジュール
はホームページで!

ギャラリースケジュール

Gallery Schedule

デュオぎゃらりー10月の催し

- 10月2日(木)~7日(火)
第5回ぐるっべ「輪」写真展
- 10月9日(木)~14日(火)
フォトクラブ火の会写真展
- 10月16日(木)~21日(火)
第4回「花の会ひょうご」写真展
- 10月23日(木)~28日(火)
NHK神戸文化センター「ボタニカルアート講座
「第11回植物画作品展」
- 10月30日(木)~4日(火)
第11回神戸カメラマン協会作品展

デュオぎゃらりーⅡ 10月の催し

- 10月2日(木)~7日(火)
装飾主義~アートになったヴァイオリン~
- 10月9日(木)~14日(火)
森の会/油彩画・パステル画・水彩画・デッサン
- 10月16日(木)~21日(火)
第34回神戸サンフォトクラブ展
- 10月23日(木)~28日(火)
第4回楽描き連U
- 10月30日(木)~11月4日(火)
第7回「かけはし」写真展

デュオぎゃらりー、デュオぎゃらりーⅡはJR神戸駅南側デュオこうべ内

創花人一つくりはなびとー

佐藤悦枝 個展「花のティアラ」

10月21日(火)~23日(木) 10:00~18:00

兵庫県民会館(県庁南)

(JR阪神元町駅徒歩約7分)

☎078-321-2131

「輪をつくり 飾り 幸せ
を呼ぶティアラをつくる」。
アートフラワー作家・佐藤
悦枝による個展。ファッ
ション性あふれる作品たち
をご覧ください。

